

|         |      |                |          |
|---------|------|----------------|----------|
| 授 業 科 目 | 心理学  |                |          |
| 教 育 内 容 | 基礎分野 | 科学的思考の基盤 人間と生活 |          |
| 担 当 教 員 | 坂井 剛 |                |          |
| 学 年     | 1    | 単 位 数          | 1        |
| 開 講 時 期 | 前期   | 時 間 数          | 講義 15 時間 |

## ■ 授 業 概 要

心理学の基礎を学び、人間の行動・反応の原理について科学的・客観的な視点の獲得を目指す。また、その知見をもって、社会生活において発生するストレスやその対処行動、ソーシャルサポートの在り方やカウンセリングの原理について理解し、実社会で役立てられる知見の獲得を目指す。

## ■ 到 達 目 標

- 1) 行動の科学としての心理学を理解する。
- 2) ストレスコーピングおよびカウンセリングの原理について理解する。

## ■ 授 業 内 容

|       | 授業内容                           |
|-------|--------------------------------|
| 第 1 回 | 心理学とは                          |
| 第 2 回 | 記憶                             |
| 第 3 回 | レスポナデント条件付け，対人心理学としての社会心理学     |
| 第 4 回 | 傍観者効果の 3 要因，社会的アイデンティティと内集団びいき |
| 第 5 回 | 社会的差別の発生プロセス，ストレスの発生と不安        |
| 第 6 回 | ストレスと認知，ストレスコーピングとソーシャルサポート    |
| 第 7 回 | カウンセリングの原理                     |
| 第 8 回 | 傾聴の 3 条件，クライアントの自己決定プロセス       |

## ■ 評 価 方 法

レポートの内容と平常点での評価を総合して行う。平常点とは、積極的な授業への参加態度を評価対象とする。  
レポート 90%，平常点 10%

## ■ 教 科 書

特に指定しない。必要に応じて資料を配布する。

## ■ 留 意 事 項

<担当講師の実務経験>

大学の心理教育相談所勤務（6 年間）、専門学校の学生相談業務（13 年）